

【山代街道物見遊山外伝//サイクリング特区にしき川流域】

「合志会社・にしき川流域地図創造舎//未知を遊ぶ！やましろフュージョン！」



合志会社・にしき川流域地図創造舎

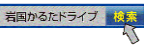
〒740-0044 岩国市通津 1951-10 いわくに研究会内

TEL/090-5573-9372

FAX/03-6368-4661

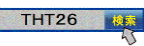
E-mail/nqa50755@nifty.com

<http://www.bike-joy.com/ICD.htm>



※注1 「合志会社・にしき川流域地図創造舎」も、「山代街道物見遊山外伝」も、仮称として提案・使用しています。

※注2 ボタリング版ツーリングコンペティション「THT26」は、トレジャーマップ上の26箇所のお宝ポイントを探り、レアポイントを予測する変則オリエンテーリング。誰でも優勝のチャンスのある運頼みルールは、年齢性別移動手段不問で楽しめ、地域資源磨きに応用が可能！



…地域ブランド磨き後方支援企画へのご協力のお願い…

深秋の候、皆様には益々ご活躍のことと拝察申し上げます。

昨年秋に実施の「毛利チャレンジ2018」は、自転車遊びの模索をする“転遊研”と、地域の福地化を考える“いわくに研究会”の共通項である【ゲーム旅/THT26:ポタリング版ツーリングコンペティション※注2】の集大成と言えます。

また“いわくに研究会”では、「MTBツアーズ」や「かるたドライブ」を通じ、やましろエリアとの関係性を深め、「やましろ羅漢スターリッジトレイル」の提案をする中、「らかんMTBパーク構想」が昨年秋に急浮上しました。

それらを具現化するため、「羅漢高原MTB企画」、「里の駅ネットワーク立体企画」、「市民の足を確保するサイクリング特区」を三本柱とする「岩国市への提言」を、今年2月、毛利チャレンジ総括に併せて関係者の皆様に郵送しました。

その三本柱のひとつを「Go羅漢ハイランドギャザリング」として平成令和の超大型連休に企画しましたが、サイクル県やまぐちとの連携不足や、懸案事項の停滞、やましろエリアの時間距離の壁などが重なり、不発に終わりました。しかし、10日間で84名の有料利用者があり、次に繋がるヒントがあったのも事実でした。

そのヒントから「週末&月イチ企画」をベースにした新たな展開を模索しつつ、懸案として停滞していた「山口むしの会」との意見交換を何とか実現し、それは良い方向に向かっており、それを受け「オレンジロフィー羅漢大会」も9月7日8日に実施しました。そしてそれらから更なるヒントが得られ、守備範囲の見直しをした上で、最小でも【山代街道物見遊山外伝※注1】を進めたいと考えます。

“更なるヒント”とは、他のフィールド共有者もアクセスの改善を気にしており「MTB企画が地域を救う！」を再認識したことであり、“守備範囲の見直し”とは、活動対象を「自転車村」から「拡大錦川流域エリア」にして色々な移動手段や様々なフィールドアクティビティを融合することです。そして、日本の実情(道路事情、余暇事情、法的根拠)を少しでも変えられるよう、他の移動手段や様々なジャンルを融合する「サイクリング特区にしき川流域」として、様々なゲーム旅の提案をしたいと思えます。

それは、“今”の自転車ブームでも実際に起こっている、「道」と言う触媒が様々な可能性の融合を促進する、【ゲーム旅/THT26】で見つけた、様々な関係者を結びつける「わらしべ効果」が期待されるからです。

そして、岩国市への提言・第二弾としての、物見遊山的里山資本主義・六次産業化地域ブランド磨き後方支援企画「未知を遊ぶ！やましろフュージョン！」の「わらしべ効果」を引き出すため、「合志会社・にしき川流域地図創造舎※注1」へのご協力の呼び掛けをお送りした次第です。その解説等は別紙になりますが、何卒ご高配の程、宜しくお願い申し上げます。

2019年11月23日

いわくに研究会・代表/中野 敏 同・企画担当/石丸英明

〒740-0044岩国市通津1951-10

TEL/090-5573-9372 FAX/03-6368-4661

E-mail/nqa50755@nifty.com

